

【令和2年4月12日水戸市長記者会見概要】

水戸市内で、4例目・5例目の新型コロナウイルス感染者が確認されましたので、報告します。

3例目の患者様（水戸市救急隊員）の濃厚接触者であるご家族3名に県衛生研究所でPCR検査を実施したところ、妻及び子（2人のうち1人）が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。市内で新型コロナウイルス感染症患者が確認されたのは、4例目・5例目になります。本件については、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を行っています。

患者様の概要について説明します。4例目は、妻で、年齢は20歳代。性別は女性。職業は会社員（パート従業員）です。最近の海外渡航歴はありません。現在、症状は特にありません。落ち着いている状態です。5例目は、お子さん2人のうちの、1人です。未就学児（保育園児）です。性別は女性です。海外渡航歴はありません。現在、症状は特になく、落ち着いている状態です。

今後の対応について説明します。濃厚接触者の把握ができ次第、必要に応じて、行動調査、PCR検査を実施していきたいと思っております。未就学児が通園していた民間の保育園「ひかり保育園」（袴塚1丁目）については、本日（4月12日）から4月22日までの10日間、臨時休園となります。

また、3例目の救急隊員の濃厚接触者である消防職員15名については、全員陰性が確認されました。

【質疑】

○会社員である妻の業種と、出勤実態について伺いたい。

会社名や職種については、まだ公表について承諾を得ていないので、現時点においては控えさせていただきます。私どもで、会社には連絡を取っているところで、お客さんを含めた濃厚接触者の把握をしたうえで、PCR検査をしていくか、自宅待機にするか、会社側と協議をしたいと思っています。

出勤はしておりますが、パート従業員とのことですので、毎日ではないと聞いています。

○該当の保育園の園児数と職員数、開園日について伺いたい。

園児は107人、職員は27人です。月曜日から土曜日に開園しており、日曜日は休みです。

○保育園以外に、関係先などは把握しているか。

現在は把握しておりません。普通に生活されている方なので、どこかお立寄りになった場所はあると思います。行動調査をしているところですので、把握でき次第、必要に応じて消毒や濃厚接触者の調査も対応していきます。

○市内・県内の感染例との接触はあったか。感染経路について伺いたい。

現在のところ確認されておりません。感染経路は不明です。

○臨時休園の間、子どもを預けないといけない家庭への支援などは考えているか。

保育園のお子様は、2週間は待機となっています。共働き世帯などの事情は分かりますが、待機中は別のところでお預かりするわけにはいかないので、各ご家庭にご協力をいただきたいと思っています。

○感染者2名は入院か、自宅待機か。また、奥様の最終勤務はいつか。

2名は本日中に入院いたします。奥様の勤務実態については、調査していますので、それに基づいた対応をしていきます。

○3例目の救急隊員の、その後の症状は変わらないか。

昨日の時点で、引き続き変わらず、落ち着いた状態で軽症です。

○5例目の園児は、いつまで通園していたか。

4月8日まで通園していたので、翌9日から数えて2週間、22日までの休園を要請したところ です。

○3例目の消防隊員の勤務先である南消防署管内について、詳細を明らかにするのか。

搬送患者の調査と対応が済んだら公表する予定ですので、もう少しお待ちください。

○濃厚接触者の消防職員15名のうち、4名に発熱があったとのことだが、現在の様子について伺いたい。

(※消防総務課回答)

4名の発熱については、全員下がっています。

○4例目・5例目は母子だが、入院の際は個室なのか。

同部屋ということで調整しています。

○3例目の救急隊員の搬送者の中に、感染者はいたのか。

現時点では確認されておりません。

○市中感染の不安を感じる市民もいるが、市長の考えを伺いたい。

市中感染しているかどうか、今はどちらともエビデンスはありません。感染経路が不明なケースが出ているということは、市中での行動において感染があったのだろうという見立てはしなければならぬと思っています。市民の皆さまには、慎重に行動していただきたいと思います。同時に、不要不急の外出を控える、「3密」を避ける、咳エチケット・手洗い・消毒など徹底するように、緊張感を持って、市民の皆さまにご協力を呼びかけていきたいと思っています。

○学校の再開、学業支援等について市長の考えを伺いたい。

水戸市立小中学校・義務教育学校については、4月22日まで休校ということでお知らせしていますが、この状況なので、再延長も含めて週明けに教育委員会と協議をします。保護者、学校現場、保健所の意見も聞いて、精神論ばかりではなく科学的知見も取り入れながら、早いうちに結論を出して保護者の方々にお知らせしなければならぬと思っています。

休校が長期になるため、子どもたちの学習の遅れが懸念されます。ただ一人ひとりにタブレットがあるわけではなく、ご家庭の通信環境が整っていないところもあるので、遠隔での学習支援等はまだ水戸市では難しい状況です。紙ベースにはなりますが、保護者や児童生徒の相談に応じながら、きめ細かく学習支援をするように教育委員会には要請したいと思います。学校現場は大変ですが、先生方に工夫をお願いするよう、私からも改めて要請していきます。

4月10日付けで、すべての幼稚園・保育所に、ご自宅で保育ができる場合は通園を自粛していただきたい旨の協力要請を、これまでより一段階強く水戸市長名で発信させていただきました。働いている方々もいらっしゃいますから、すべて休園にするとパニックになってしまいます。即休園というわけにはいきませんが、在宅勤務ができる方や、お休みが取れ

る方など、通園を自粛して家でお子さんを見ていただくよう、官民間わず、協力を仰いでいきたいと思います。

○消防職員 15 名のうち、4 名は平熱になったとのことだが、他に症状が出ている人はいるか。

おりません。15 名全員、2 週間の自宅待機をしていただいています。

○学習支援について、夏休みを使っても学習の遅れが取り戻せないという見解もあるが、水戸市の考えを伺いたい。

カリキュラムを消化する努力はしていく必要があります。ただ、今は具体的なスケジュールがあるわけではありません。休校がどこまで長引くかが分からないので、ゴールが見えない状況であるからです。日々、遅れないように工夫しています。まずは、目先のことになりますが、現時点でやるべきことをやって、ある程度収束が見えてきた段階で、夏休みや冬休み、土曜日等の活用を教育委員会と協議していきたいと思います。

○他の自治体では、親が休みを取れるよう自治体から会社宛てにお願い文書を出したりする対策があるが、水戸市ではどうか。

このような記者会見の場で申し上げていることが、まさに社会へのメッセージでもあります。企業様には、休める環境を作っていただいて、働く方が安心して子どもたちを見られるような後押しをいただければと思っています。経済団体等を通して、私の方からもメッセージを発していきたいと思います。